地区広報
芸術の森
題字　平澤　博

第12号
平成20年9月30日
発行　地区広報・芸術の森
編集委員会
印刷　(株)辻　孔　版　社

街づくり推進会議開催

企画部

去る７月23日、芸森地区会館において、今年度最初の「街づくり推進会議」が開催されました。
今回の会議では、次の項目について討議がなされました。

(1) シーニックバイウェイ事業の進捗状況について
　・南区の取り組み状況
(2) 芸術の森地区街づくり推進会議のあり方について
　・新たな部会の設置について
(3) まちづくりセンターの自主運営化について（出前講座）

◆◇◆◇◆

最初に会長の挨拶の後、６月の理事会で決定した、学校関係者や福祉施設の関係者を新たにメンバーとして加え、特別委員をお願いした札幌市立大学の羽深教授の紹介を行いました。

◆◇◆◇◆

(1) のシーニックバイウェイの取組み状況については、昨年９月から本年６月まで７回の検討協議会を行い、各地域の資源や、各団体の洗い出し、南区としての活動目標や取組みの方向性を検討したこと。

この検討結果を踏まえて今後、「ルート運営代表者会議」を組織して、「景観づくり」「地域づくり」「観光空間づくり」のテーマごとに部会をつくって活動計画の策定を行い、連携した取組みを実施していくことが報告されました。

(2) の街づくり推進会議の部会の設置については、①芸術の森地区新まちづくりビジョン対応型　②課題対応型　③部会は設けず、課題に応じて委員会を設置する案について検討を行いました。

①のビジョン型では、括りが大きく分科会を設けていかなければならない。また、社会福祉協議会等関係団体との調整が必要になる。一方事業全体の進行管理が行いやすく、今後のビジョン見直しの際には、検討の枠組みとして有用である。

②の課題対応型では、①同様に既存の団体との調整が必要であるが、課題を絞り、共通課題に網羅的かつ機動的に対応でき、協議を行いやすい。

③の課題に応じて委員会を設置する案では、ビジョン全体の進行管理を別途おこなう必要があるが、課題に即した機動的な対応が可能。

検討の結果、②案の課題対応型で進めていくことになりました。今後既存の組織を考慮しながら部会作りを進めていきます。

◆◇◆◇◆

最後に、札幌市の（出前講座）「まちづくりセンター地域自主運営の実施内容」について、市民自治推進室市民自治推進課長の横井氏に説明をいただきました。
これは、札幌市が進めている「自分たちのまちのことは、自分たちで考え、決定し、そして行動していく」ということが基本になっています。今後、街づくりセンターは連町で運営をしていくことになります。

入所サービス
ショートステイ

みなさまの想いにおこたえいたします
医療法人 愛全会
介護老人保健施設
アートヒルズ
〒005-0843　札幌市南区石山837-47
居宅介護支援事業所併設（ケアプラン作成）
0120 Free Dial 0120-348-365
通所リハビリテーション

地域の交通安全運動と役員組織

交通安全部長　大滝　盛弘

地域の皆様方には、四季の交通安全運動、街頭啓発など交通事故防止運動に、ご参加ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

はじめに、交通安全「母の会」等を含めた役員構成・啓発活動など組織に少し触れながら概略について記述しようと思います。

当地区の交通安全運動推進委員会は札幌市南区交通安全運動推進委員会に所属しています。つまり、当地区推進委員会は南区の下部組織に当たります。会長は南区長で各地区町内会連合会長は全員常任委員会のメンバーに登録されます。他に南区交通安全運動推進委員会会長代表、南区交通安全母の会連絡協議会会長、指導員支部長代表、ＰＴＡ会長代表、老人クラブ連合会会長、等々、常任委員は22名で構成され、南区交通安全運動推進委員会の上部役員に位置付けられています。その下部組織に委員が置かれ、各地区の交通安全運動推進委員会、交通安全母の会交通指導員支部長等がこれに当たり、これを実践会長と呼びます。常任委員会で計画した四季の安全運動は事務局より、開催時期に実践会長宛（依頼）通知され各地区は日時を設定し啓発運動が実施されます。

これまで記述したように、それぞれの会はすべて母体を持つ独立した組織であり、平素は自身の会の事業を行い、市の啓発運動実施日には参加協力態勢にあります。

芸術の森地区交通安全運動推進委員会も上部組織に基づいた役員構成です。「交通指導員」は所属地域が必要と認めた数を推薦し、市・事務局に申請します。辞令は南区交通安全運動推進委員会会長名で発令されます。

勉強会の様子

街頭啓発の様子

さて、今年６月より道路交通法の一部が改正され、施行されました。当交通安全部はこの機会に改正道路交通法の勉強会を開催するべく理事会に提案し、「母の会」の協力も得て、７月22日に実施いたしました。講師に札幌南警察署交通担当酒井次長様をお迎えし、終始和やかな雰囲気の中、会をすすめることができました。60余名参加。

引き続き実施された街頭啓発は、予定通り、交通安全の旗の波でアピールし、夏の啓発運動は終了となりました。

防犯・防災部から

「地域安全活動推進委員」のご紹介

去る８月29日に芸術の森地区会館で、下記町内会の方々に南防犯協会長と南警察署長の連名による委嘱状が授与されました。（期間20年４月～22年３月末まで）

見　晴	蓑輪　博	常盤団地	鈴木　久夫
石山東	斎藤　省	常盤１区	白木　保義
サンブライト	斉田　雅也	駒岡団地	塩崎　典男
アートパーク	加藤　尚之	滝　野	伊藤　正一

少子・高齢化が身近な問題
「まさかの予想外事件・事故、災害等多発中」
いざと言うとき機能するのは「向こう三軒両隣り」
助け合いの輪を広げましょう。
芸術の森地区の「安全・安心なまちづくり」を目指し、皆様方のご協力をお願いします。

「振り込め詐欺」にあわないために　研修会の開催

８月27日　「振り込め詐欺研修会」の実施状況

南警察署 白木課長を迎えて

振り込めサギ
特別警戒中

身内の窮状を装い、金品を請求する詐欺が多発しています!!

手口巧妙でドギモを抜かれるのが現実
被害に遭わないために「落ち着いて、すぐに振り込むな、誰かに相談、警察に通報」を!

平成20年度 第 14 回 芸術の森地区 文化祭

豊かな自然と芸術の文化的環境に恵まれた芸術の森地区住民１万余は、日常活発な文化活動を展開しています。その成果は、南区外においても好評を得ています。この１年の成果を広く地域に発表したいものです。

日時　11月２日（日）・３日（月・祝）
10:00～17:00（３日は15:00終了）

場所　芸術の森地区会館（南区石山東７丁目１－31）

作品募集　絵画・書道・木工・陶芸・手芸・生け花・盆栽・写真等

作品搬入　10月24日（金）～31日（金）15:00まで
作品名・氏名記入の上、上記会館へ持参願います。

問い合わせ先　芸術の森地区文化祭実行委員会
（芸術の森地区まちづくりセンター内　でんわ　592－7009）

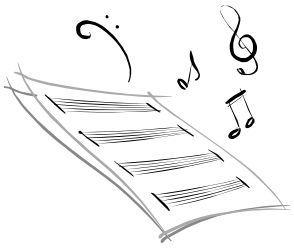
第２回 写真展『げいもりの四季』

☆☆　私たちのまちの隠れた風景を　貴方のフォトで再発見！　☆☆
芸術の森地区の美しい風景、町並みなど
貴方が撮影した写真、秘蔵の写真を出品してください

今年は全作品を映像化し、プロジェクターで連続映写しての展示とします。文化祭と同じ会場での公開となります。詳細は下記または「地区広報芸術の森」第１１号を参照願います。

芸森ネットコミュニケーション
http://www.geimori.net/

第13回 芸術の森地区音楽祭



2008年11月16日(日)
開場　13:00
開演　13:30予定
終演　16:00予定
会場　札幌芸術の森アートホール

今年も地域住民の手作りによる地域住民の交歓の場であってほしいと思います。

駐車場整理券を11月以降、芸術の森地区まちづくりセンターに用意しますので、あらかじめお受け取りください。

出演者募集

第13回芸術の森地区音楽祭に参加してくださる個人・団体を募集しています。
気軽に応募してください（出演時間10分）。締め切りは10月6日（月）ですが、早めの応募をお願いします（申込用紙が必要です）。不明な点はご連絡ください。　常盤中学校教頭（591－1433）

主催　芸術の森地区町内会連合会・財団法人札幌市芸術文化財団芸術の森
主管　常盤中学校区青少年健全育成推進会

食料基地としての北海道を再確認

芸術の森地区町内会連合会女性部

７月17日、研修見学会を実施しました。今年は、世界的食料不足から自給率の低い日本での北海道の果たす役割を再確認し、改めて食について考える機会にしたいとの主旨から、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構　北海道農業研究センターをみせていただきました。北海道の耕地面積は全国の25パーセントを占め、これを基盤に、水稲、小麦、豆類、ばれいしょ、てんさい、たまねぎ、スイートコーン、牧草、生乳および牛肉の生産量は全国の首位を占めていること、またより付加価値を高めるための研究が急ピッチで進められていること。難しい研究内容を研究者の方々が、時には作物を手にしながら、判りやすく説明してくれました。広大な現地に立って、改めて、食について考えさせられた一日でした。52名参加。

水稲実験の説明を受ける

水稲の生育の様子

かぼちゃの生育の様子

女性部研修会

平成21年7月から

ごみ収集はどう変わるの？

開催日　**10月８日（水）**
14:00～16:00

会　場　**芸術の森地区会館**
２階会議室

講　師　**札幌市南清掃事務所職員**

現場に密着した詳細な話が聞けます。
ご近所のお友達をお誘いあわせの上
おいで下さい

環境衛生部研修会

家庭ごみの有料化が始まります　環境衛生部

平成21年７月１日から、家庭ごみ（対象：「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」）の有料化（別掲参照）が始まります。

市は、分別意識の高まりや、ごみの減量・リサイクルを期待して、この３月に「スリムシティさっぽろ計画」を策定し、11月からはこれらの説明会（“ごみパト隊の巡回”を含む）の開催を予定しています。

説明会などの実施については、今後その都度お知らせしますが、お互いごみ問題を共有して快適な生活環境を図るため、是非ご参加をいただきたいと思っております。

ごみ袋の種類と価格

市内のスーパー、コンビニエンスストアなどで、
来年6月ごろから販売する予定です。

ごみ袋の大きさ	価格
５リットル	１０円
１０リットル	２０円
２０リットル	４０円
４０リットル	８０円

手数料の減免

育児・介護用の紙おむつや、公園・道路などの地域清掃でごみは、手数料の減免対象とします。
該当要件などの詳細は、決まり次第お知らせします。

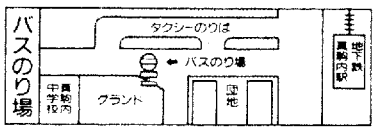
永久に生きる花と緑の明るい聖地

真駒内滝野霊園

札幌市許認可霊園

無料　見学・墓参バス運行中

時間　午前 10:00
午後 12:00
午後 2:00



お問合せ・お申込みは　**真駒内滝野霊園事務所☎(011)592-1223**(代表)

２年目を迎えた単位町内会における「福祉推進委員会」の組織化に向けて

芸術の森社会福祉協議会　福祉推進部長　**塩崎　典男**

芸術の森社会福祉協議会の福祉推進部長として２年目を迎え、各単位町内会に福祉推進委員会の設置を進めてきましたが、ようやく町内会との協議が始まりました。単位町内会における福祉推進委員会は何をする組織なのかと問われれば、硬い語り口調で表現すれば「在宅介護を定着させるための組織」という行政側の思いが伝わってきますが、私は地域の助け合いの組織ではないかと考えています。

単位町内会で福祉推進委員会を組織化するにあたり、いくつかの留意点を列挙したいと思います。

１．組織について

単位町内会における福祉推進委員会は、役員構成として三役と福祉推進委員及び協力員が一般的です。

役員は、当然自分の町内の各班ごとに対象となる65歳以上の世帯の実態把握が最優先となります。福祉推進委員会の全容は、三役、推進委員、協力員、会員ということになります。

２．福祉推進委員会の事業

福祉推進委員会はどんな事業を行うのかといえば、第一に会員の実態把握ということになると思います。

毎年会員の確認作業が必要となります。独居高齢者宅や、障害者、夫婦ともに高齢で病弱な世帯等を確実に調査し、ふれあいカードを作成することが必要となります。見守り活動や、簡単な手助け活動等の実施。冬季間の福祉除雪の実施や、屋根の雪下ろし、窓際の排雪等の実施等が主な活動となります。

特に独居世帯の把握は重要であり、災害時の対応や、日常生活での見守り活動は対象世帯の近所の方々の世話役となる協力員の活動はとても大事であります。

第二に、会員のニーズの把握ということになるかと思います。高齢者が何を求めているのかを知り、その上でどんな手助けができるのかを推進委員会で協議し、行政の支援等も含め、解決のための活動が重要な事業といえます。

３，会則及び予算の検討

予算は、社会福祉協議会からの補助金や、交付金が設定されていないため町内会の福祉関連予算を充当せざるを得ないのが実情です。町内会の中の組織でありますから、総会での承認が必要となるため、今年度中に概要をまとめ平成21年度の総会に間に合うよう、現在鋭意実現のための作業を展開している最中です。

最後に、皆様におかれましては健康にはくれぐれも留意され、元気に過ごされますようご祈念申し上げます。

福祉除雪サービスのご案内

冬季間の除雪について、地域でお困りの方は、地区社会福祉協議会に、ご相談ください。

★利用対象者

高齢の方（70歳以上の高齢者世帯）や障害のある方（重度の方で構成されている世帯）が通院や買物などの外出時に支障となる、道路に面した出入口部分（間口）と玄関先までの通路部分（敷地内）の雪を、地域の協力員が除雪する事業です。

★申込期間

平成20年９月１日（月）～10月６日（月）

利用申込書は、下記のところで配布、受付を行っております。

・地区社会福祉協議会（地区まちづくりセンター内）
・区社会福祉協議会、区役所保健福祉課

★お問合わせ先

芸術の森地区社会福祉協議会（地区まちづくりセンター内）
・TEL.FAX（592－7144）

福祉除雪協力員の募集について

12月からの除雪活動をしていただける「地域ボランティア」を募集しております。

お近くで、除雪でお困りの方にご協力をいただけるお元気な方を、歓迎します。

○活動内容

・間口（道路の出入り口部分）を概ね幅1.5m
・敷地内（玄関先の通路部分）を歩行に支障のない程度。

○除雪日時

・道路除雪が行われた日の午前中に実施していただきます。

○除雪期間

・平成20年12月１日（月）～21年３月25日（水）

○登録・お問合せ先

社会福祉法人　札幌南区社会福祉協議会
南区真駒内幸町２丁目（南区役所内３Ｆ）
・TEL（582－2415）・FAX（582－7370）

もりの仲間の子育てサロン

最近のサロンの様子をお知らせします

子育て支援部

去る８月６日、元気な法被姿で登場するお友達が、目立ちました。この日は午後から南老人福祉センターで夏祭りがある日でした。午前中はサロンで遊んで、午後からは夏祭りに参加。石山東小学校や常盤中学校へ通う地域のお兄さんお姉さんの太鼓にあわせて踊ったり、ヨーヨー釣り・パークゴルフ・射的・ストラックアウトゲームなどを楽しみました。常盤児童会館のお友達もたくさん参加していました。おじいちゃん・おばあちゃんからは暖かい笑顔をたくさんもらいました。楽しい楽しい時間でした。

８月６日と20日にはサロンのボランティアさんの家にホームスティをしているベラルーシ国の８歳のお友達２名がサロンに参加していました。小さなこどもをあやすのが上手なアナスタシア、じっくり遊ぶカロリナ。日本の小さな子たちと触れ合って何かを感じてくれたら嬉しいと思いました。

９月17日は、５月に蒔いた畑の作物の収穫でした。四季を感じるサロンの行事を楽しみました。　（文責三上）

介護予防への意識を高めよう！

「もりの仲間のさわやかクラブ」の開催

高齢者支援部長　清水　勲

「森の仲間のさわやかクラブ」は、札幌市保養センター駒岡を開催場所として、芸術の森地区町内会連合会に所属する14町内会を、４ブロックに区分し、各々年２回開催することとし、現在１巡目を終わったところです。

この事業のねらいは、①各町内会の高齢者の方々が誘いあって参加し、こまおか朝市でのお買い物を通じて生産者・出店者と交流しながら、屋外行動を楽しんで頂く。②「札幌市南区介護予防センター石山・芸術の森」に担当して頂き、介護予防・転倒防止体操や血圧測定と日常生活相談を通じて介護予防意識を高めて頂くと共に介護予防センターの存在と役割を理解して頂く。等で、約半日の日程で、心身のリフレッシュを図って頂くことです。

今後２巡目の開催をいたしますので、皆さんのご参加をお願い致します。

秋の収穫と世代交流

ふれあい部長　野中　晴彦

去る９月６日は常盤児童会館を会場に恒例となりました秋の味覚を楽しみながらの三世代交流会を実施しました。安藤農園からのジャガイモ・とうきび、関口農園の枝豆が参加者の胃袋を満たしました。児童会館内での遊びに、こどもたちは元気いっぱい。外での薪ストーブ・大なべの調理等々、前日からの準備に汗を流してくださったボランティアさんお疲れさまでした。218名参加。

また、２週間ほどさかのぼった去る８月24日には保養センター駒岡において「夏まつり」がありました。毎月２回「こまおか朝市」を開いている会場です。地域住民の方々に地元で収穫された新鮮な野菜・山菜等を格安で提供しており、この日も社協は後援者として夏祭りを応援しました。常盤中学校の生徒による吹奏楽・カラオケ・踊りのステージイベント、ビンゴゲーム、焼き鳥・焼きそばなど食のコーナーも大人気で、夏祭り参加者数1,912名でした。ボランティアさん早朝からご苦労様でした。これからもよろしくお願いいたします。

福祉を支える人

桐越　陽一　さん

プロフィール

札幌郡豊平町字土場（現・常盤）、昭和13年出生。常盤小中学校卒業後、家業の農業を継ぐ。昭和40年、札幌市農業センターに勤務。現在、札幌市森林組合嘱託職員。

昭和48年、長年胸に秘めていた“芸”を志して、「腹話術の会」に入門、その後紙芝居を修業してレパートリーをふやし、「路地裏芸を通して子どもたちと本来の心の触れ合いを大切にしていきたい」と桐越さんはいう。

街頭紙芝居が時代を超えて再認識され、市内外の学校からこれを勉強にとり入れたいと声がかかるようになり、なかでも厚別小学校から社会科の教材にと請われて「紙芝居劇団」が発足、更にご本人自身座長として「路地裏芸を楽しむ会一座」を結成し東奔西走の日々を送っているといい、この度芸森社協行事「もりの仲間のさわやかクラブ」にも出演、楽しませていただきました。

今後とも、子ども会、老人会に出向き、「ふれあい」「語らい」を大事にし、また「“下町文化”ともいわれる路地裏での街頭紙芝居を続け、かつて当時の子どもたちが追い求めた“玩具”を会の子どもたちに是非見せてやり、これまで蒐集してきたものを一般にも公開するのが私の夢です」とも話されました。

青少年育成委員会からのお知らせ

おいしい！たのしい！

おもちつき大会

時期：12月14日（日）
10時30分から幼児の部
11時から小学生の部
場所：常盤児童会館
みんな、遊びに来てね！

第37回 南区親善少年少女親善 スポーツ大会

時期：11月24日（月）
10時～3時半
場所：南 区 体 育 館

毎年優秀な成績をおさめているドッヂボール大会、石山東小学校・常盤小学校のチームが参加します。

皆さん、応援に来てください!!

石山明正会創立30周年を迎えて

副会長　**椿原弥三郎**

石山明正会は1978年（昭和53年）７月15日に南区18番目の老人クラブとして誕生しました。爾来30年間、地域有志や町内会のご協力・御指導と、歴代会長さん始め役員の方々、更に一般会員の皆様のご努力・ご協力により目出たく30周年を迎えることとなりました。

創立30周年記念式典は平成20年７月15日、保養センター駒岡において挙行しました。当日は天気にも恵まれ、ご来賓として南区保健福祉部長西川俊昭様、南区老人クラブ連合会会長水上勝治様をはじめ芸術の森地区各老人クラブ会長様並びに石山東町内会役員の皆様等多数の御臨席を賜わり、一般会員55名の皆様とともに30周年をお祝いしました。

記念式は会長式辞に始まり、明正会の歌を元気に斉唱した後、南区西川保健福祉部長様、続いて南区老連水上会長様からご祝辞をいただきました。30周年を記念して20年以上在籍して功労のあった菊地正夫様、中野稠久様、亀田喜代子様に表彰状と記念品の贈呈が行われました。

引き続き同会場で祝賀会を開催し、芸術の森地区連町関口明会長様からお祝いの言葉をいただき、石山東町内会堀川会長様のご発声で祝杯をあげました。ご来賓の方々、会員の和気藹々の交流が始まり、元プロ楽団のコンサートや会員の踊り、歌謡に楽しいひとときを過ごし、まちづくりセンター所長野島様の万歳三唱で明正会の更なる発展と会員のご健勝を祈念して予定通り終了いたしました。

公私ご多忙の中、ご臨席いただきましたご来賓の皆様に重ねて御礼申し上げます。

明正会のみならず老人クラブには課題は沢山あります。会員加入の促進、高齢者の多彩な趣向や行動に対応する魅力ある事業の推進等です。明正会は30周年を契機に会の充実、発展に努力していく所存でありますので倍旧の御指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

（附記）記念事業として記念誌を発行し、会員および関係先に配付しました。

空沼岳清掃登山

去る６月21日、常盤体育振興会主催の標記清掃登山が行われました。前日から曇り空で雨が心配されましたが、朝から霧がたちこめ見透しこそ悪かったものの、暑からず寒からずの登山日和りとなりました。

参加者は30名を僅かに下回りましたが、皆さん元気一杯で万計沼を目指して出発し、万計山荘には約１時間50分前後で到着しました。少休止後、体育振興会の役員さんが準備したジンギスカンとビール、ジュースをお腹一杯食べて満足感に浸りました。同じ味付けなのに、なぜ、ここで食べるジンギスカンや飲み物が美味しいのか不思議ですね、など話をしているうちに帰りの時間となり帰途につきました。

１人の落ちこぼれもなく皆さんが元気で下山できたことは、日頃から登山道の整備に尽力されている山岳会の方々のお陰と感謝しております。また、美味しい食べ物や飲み物を準備頂いた体育振興会の皆さんにお礼申し上げます。

第14回ソフトボール大会が開催されました。

平成20年７月６日（日）、恒例の芸森ソフトボール大会が第14回を数え、石山東公園Ｇ、石山東小学校Ｇにて晴天の下６チーム参加で行われました。今回は残念ながら見晴町内会・アートパーク町内会の２チームが不参加でしたが、各チーム楽しく熱戦を繰り広げました。（当日は30度）

試合は総合力で常勝の石山東が２チームを出し、抽選で２ブロックに分かれ決勝で石山東チーム同士の試合になり、Ａチームが優勝しました。

【大会結果】
優　勝　石山東Ａチーム
準優勝　石山東Ｂチーム
３　位　常盤･空沼チーム

子ども110番の家スタンプラリー

駒岡の子どもを見守る会

学校･地域･保護者が連携して実施

平成18年度から始まった駒岡地区子ども110番の家スタンプラリーは「地域の子ども110番の家を探そう」「地域の方と挨拶をしよう」など、４方面に分かれて、駒岡小学校の児童全員が放課後の時間で行っておりました。３年目の今年は、バス通学の児童が多い実態から、実施時間の問題やこの取組の趣旨の問題を解決すべく、子ども会（駒岡小学校の児童は全員入会している）を中心に、地域と保護者の連携のもとに６月17日（札幌市の先生方が研修で午前授業の日）に実施しました。７月の役員会、総会では、この「子ども110番の家」の登録者が多い実態を活用し、実際の危険を子ども自らが回避できる力の育成をめざし、内容や方法を改善していきたいという反省がだされていました。後期も駒岡小学校の子どものために「地域・学校・保護者」が連携して見守る活動の充実をしていきたいものです。どうぞよろしくお願いします。

子ども会の石川さんと一緒に、「いってきまーす」

帰ってきてお手伝いのお母さんたちから景品を渡されにっこり笑顔

訃報

長く当地区の青少年育成･体育関係等で、広くご活躍されてこられた現･芸術の森地区町内会連合会理事（青少年部長）古内 昭様には、９月５日ご逝去されました。

生前のご功労を謝し､心からご冥福をお祈り致します。

吉澤 孝子さん

北海道社会貢献賞を授与

芸術の森地区青少年育成委員会副会長（前会長）吉澤孝子さんは、青少年健全育成活動の顕著な功績が認められ、此の度北海道社会貢献賞を授与されました。

おめでとうございます！

第14回芸術の森地区大運動会が開催されました！

平成20年８月31日（日）､石山東小学校グラウンドにおいて､第14回芸術の森地区大運動会が盛大に行われました。

不安定な天候が続く中、この日は予想外に運動会日和となり、参加人数では小学生が若干例年より少ないものの、大人の参加人数が多く、景品が足りなくなり参加人数を制限する競技もありました。子供から大人まで個人戦と団体戦が楽しめるプログラムであったことに加え､今回は景品として用意された農産物がとても喜ばれました。

石山東小学校の多大なご協力のもと、南区長さん、市議さんらの参加もあり、競技は順調に進みました。

後半の団体競技の男女パークリングでは、日頃の練習の成果が発揮されて、高得点が続出しました。

恒例の一升瓶物語では、過去高得点を維持してきた見晴町内会が今年も一位を獲得しました。

各役員はじめ町内会の方々の熱い一日でした。

栄えある第14回の優勝チームは、
見晴・八区町内会!!
優勝おめでとう!!
準優勝　滝真・サンブライト町内会
第３位　常盤団地町内会

編集後記

７月発行・11号の頁数を抑えた関係もあり、余裕があると思っていた本号が、盛り沢山となりました。ただ、本紙発行の主旨でもある「意見交換の場」とする内容が多いことは喜ばしいこととも思います。引き続き多くのご応募をお願い致します。

編集委員長　堀川　昭八　　委　員　火山　正己
副編集委員長　三上　良子　　会　計　佐藤　宗昭
委　員　佐々木智明　　監　事　馬場　宏